

令和元年 12 月 2 日

2011 年 1 月から 2013 年 3 月までに産業医科大学エコチル調査に参加された方へのお知らせ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、エコチル調査で得られた情報の記録に基づき実施する研究です。このような研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（西暦 2014 年 12 月 22 日制定 西暦 2017 年 2 月 28 日一部改正）」により、対象となる参加者さんのお一人おひとりから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開するとともに、参加拒否の機会を保障することとされています。この研究に関するお問い合わせ、また、ご自身の情報が利用されることを了解されない場合は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。利用の拒否を申し出られても何ら不利益を被ることはありません。

1. 研究課題名

子どもの健康と環境に関する全国調査
—妊娠中に燃料系物質取り扱い業務に従事した母親から生まれた児の1歳時までの喘息様症状出現の研究—

2. 研究期間 2020 年 2 月から 2022 年 9 月まで

3. 研究機関 産業医科大学エコチル調査

4. 実施責任者

産業医科大学エコチル調査 特任教授 下野昌幸

5. 研究の目的と意義

妊娠中にガソリンや灯油などの燃料系物質を多く使用すると、おなかの中の赤ちゃんが生まれた時に喘息様症状を誘発するかどうかを調査します。この研究によって、妊娠中にどの程度、燃料系物質使用を避けたほうが良いかが判ります。

6. 研究の方法

妊娠初期(12-16 週)と妊娠後期(22 - 28 週)に液体液体燃料に接触した頻度の多さから、出生した児が 1 歳時までに喘息様症状を発症し易さを検討します。

7. 個人情報の取り扱い

本研究で使用するCD化されたデータは、既にエコチル調査コアセンターで匿名化されていますので、個人を特定できる情報は入っていません。しかし研究者はCDを、必ず鍵の掛かる金庫または机内に保管致します。なお、個人を特定するための資料は国立環境研究所内のコアセンターのみが所持し、コアセンター内の金庫で保管されます。金庫の場所は、研究者には知らされていません。また、本研究の意義、目的、方法を記したオプトアウト文書を本学エコチル調査のホームページに公開しています。

8. 問い合わせ先

実施分担者 エコチル調査産業医科大学サブユニット
特任助教 菅 礼子
電話番号 093-284-5180 FAX : 093-284-5182 内線 8221

研究実施責任者 エコチル調査産業医科大学サブユニット副センター長
特任教授 下野 昌幸
電話番号 093-284-5180 FAX : 093-284-5182 内線 8221

9. その他

本研究参加による直接的利益はありません。本研究の利益相反については、産業医科大学利益相反委員会の承認を得ており、公正性を保ちます。